

<http://www.minamih.net/>



11・2・13(日)  
南NEWS NO64

### 第17回きさらぎ杯東京都少女サッカー大会Eブロック予選

<予選リーグ>

(1/16 柏木小) 南八王子 対 南大沢 0-2 (前半0-2) 5年生以下のまた今年初めてのサッカーの試合だったので、緊張というより慣れないポジションに戸惑いながら試合に入ってしまった。最初に与えたコーナーキックで蹴り込まれたボールへの反応はしっかりとできましたが、クリアしたセカンドボールへの反応が遅れてそのままシュートを決められてしまいます。さらに守備の一瞬の隙を突かれて追加失点してしまいました。押し込まれる場面が多かったため少し守備的になってしまい、攻撃のコマ数がなかなか足りずに大きなチャンスを作ることができずに負けたという初戦でした。

でもあまり心配はいりません。勇気を持って攻撃的に行った後半は相手に崩されることなく、また何度か攻め込むチャンス持ってくれたからです。次につながる初戦の敗戦だったと思います。

この試合では、3年生の小沢さんにセンターバックをやってもらいましたが、視野の広さと読みの良さ、そして期待した通り大きな声でのコーチングと素晴らしいプレーを見せてくれました。



(1/23 緑が丘小) 南八王子 対 稲城 1-0 (前半1-0)  
得点者 片寄優さん

このチームで2試合目でしたが、少しずつ慣れてきたのでしょうか?とても良い試合だったと思います。攻撃ではワントップの片寄優さんのスピードが生きて何度も相手ゴールを脅かしました。キーパーの動きを良く見たループシュートや、ゴール前の校庭に設けられたトラックの紐にスパイクが2度も引っかかり転倒するという不運に見舞われて1得点に終わりましたが、3、4点取っていてもおかしくないプレーを見せてくれました。MFの小林るさんや飯島さんの攻撃参加も有効で、小林るさんはごーる前での決定的チャンスが一度ありました。ちょっとあわててシュートが打てませんでしたが、次はきっと決められると思います。

守備では気仙さんが相手の攻撃も芽を摘み、センターバックの小沢さんの落ち着いた対応が光りました。2度ほどあった相手エースのドリブル突破では漆間花さんがものすごい勢いで戻り決定的なシュートを打たせませんでした。さらにゴールキーパーをやってくれた安井さん、伊藤さんは一度ずつあった決定的ピンチを防いでくれたことがチームに勝利を導いてくれました。

矢上が75年4月、由井三小に5年生担任として赴任し、土・日、あるクラブの指導を手伝い始めて以来の良きライバル・高嶺の花、白百合サッカークラブの40周年を祝う会が2月11日催されました。

私は来賓代表として挨拶をと突然指名され、おめでとうの気持ち半分、急逝された高橋先生を想いながら悲しみ半分のスピーチをさせていただきました。

「40周年、誠にありがとうございます。しかしながら、みなさんもそうだと思いますが、ここに高橋先生がいらっしゃらないのが何より悲しいです。悔しくなりません。今日の記念の日に、白雪。高橋先生が“練習・試合もなくし、40周年、来し方を振り返り、これからの考えなさい”とおっしゃっているのではと

思いながら、この会場へと歩んで参りました。……」  
これからも仲間と切磋琢磨し、燦然と輝く歴史に新しいページをとエールを贈り、結びとしました。

(1/23 緑が丘小) 南八王子 対 町田 5-0 (前半4-0)

得点者 片寄優さん(2)、漆間花さん、滝本さん、小林さん

リーグ最終戦はのびのびとできました。ただこういう試合は要注意です。心配した通りに何度かお見合い・譲り合いというまずいプレーが見られました。

でも前半5分の得点で試合のペースを握ります。気仙さんからのロングスローがゴール前に入ってきたところを片寄優さんは(苦手の)ヘッドで確実にゴールを決めてくれました。漆間花さんのドリブル突破からのシュートも素晴らしいと思いましたが、DF滝本さんと小林莉さんの2得点は特によかったと思います。チャンスを見逃さずに積極的に攻め上がった結果のシュートだからです。こういうプレーをどんどん続けて欲しいと思います。小林るさんもチャンスに何度も顔を出しますが、今日は運がなかったように思えました。井上さんや矢久保さん、片寄マさんなどの攻撃参加も素晴らしかったです。



守備では小沢さんの落ち着いたプレーとコーチングでほとんど相手にチャンスを作らせませんでした。

これでリーグ戦2位で決勝トーナメント進出です。できるだけたくさん試合できるようにガンバろう!

<決勝トーナメント>

(1/30 愛宕小) 南八王子 対 町田相原 0-0 (PK 2-3)

残念な結果に終わりましたが、次につながる素晴らしい試合を見せてくれたと思います。ドリブルでの仕掛けとタイミングのようにスルーパスやワンツー、相手へのボールの寄せなど質の高いプレーを見せてくれました。両チームを併せて唯一の決定的な得点チャンスであった後半の井上さんのクロスバーに当たるシュートが決まっていればと思いますが、今回は南八に運がなかったということなのでしょう。



6年生のいないこの大会を通じて大きく成長を感じたのは、滝本さんと小沢さん。滝本さんはボールキープから自らのドリブル突破やパスの選択を自信を持ってプレーできていました。小沢さんは大きな声でのコーチングと的確な判断で重要なストッパーの役割をしっかりと果たしてくれました。これからがとても楽しい3年生です。

目標であった中央大会出場は逃しましたが、みんな大きく成長したと思います。大きな自信にして欲しいと思います。  
by 飛田コーチ